

市民が主役、
子供達の未来のために。
朝霞市議会・保守

令和7年 春号

あさか未来

みらい

発行日：令和7年4月15日
発行元：朝霞市議会保守会派
あさか未来（第3期）
責任者：会長 田原亮
電話：423-0437
所在：朝霞市本町1-1-1
（朝霞市役所内）

新しい朝霞を求める声が可視化された朝霞市長選挙でした。

令和7年2月9日告示、16日投開票の朝霞市長選挙が行われ、20年振りに新しい市長が誕生しました。我々あさか未来は、元厚生労働省職員で生きる根幹と言える「労働」の専門家、小野寺のりこさんを応援しましたが、残念ながら**新しい朝霞**の扉を開くことは叶いませんでした。しかし、37.2%と相変わらず低いものの投票率は前回より約6ポイント上昇し、次点となった小野寺のりこさんの得票も**ほぼ互角の20,377票**という大接戦であったことは、新しい朝霞を求める声が**可視化**された大変意義のある成果だったと振り返っております。

また、所属政党や立場などの差異を越えて多くの方々と**ワンチーム**になり、**朝霞をアップデート**しよう！という合言葉で一丸となって戦った選挙は、我々あさか未来にとって貴重な経験となりました。皆様とともにチャレンジしたことを、あさか未来一同とても**誇り**に思っています。我々は、小野寺のりこさんに寄せられた**2万票を超える期待**を決して忘れずに、これまでと変わらず是々非々の姿勢で、本市の最善の利益を追求して参ります^^



市長選後の会派**解散**。その後の再結成と悲しい別れ。

あさか未来のスローガンは、お馴染み「市民が主役、子供達の未来のために」です。前半は福川鷹子議員、後半は小池貴訓議員の口癖から生まれたスローガンで、我々の行動指針としても一番大切にしているものです。市長選の2日後、新しい朝霞を目指した第2期あさか未来は当初の役割を終え、新しい目標に向かうために**解散**することとしました。そして、このスローガンの下で力を合わせられる仲間を改めて募り、あさか未来は第3期メンバーとして**再結成**したことを報告します。これまでとは比較にならない結束力で、進取果敢に取り組んで参ります。

追悼の辞

▶▶▶▶▶
あさか未来
ちゃんねる
▶▶▶▶▶



そして悲しいお知らせがございます。同じ日、**あさか未来の名付け親**であり、会派を超えて多くの議員から慕われた小池貴訓議員が、急性心不全のため急逝されたのです。想像だにできなかった小池議員の逝去を悼み、令和7年3月定例会初日の冒頭に**追悼の辞**を捧げました。第3期メンバーの一員でもある小池議員の遺志を未来につなぐためにも、我々は一丸となって市政発展に尽くし、議員としての職責を果たしていくことを誓います。



福川 鷹子
副議長
建設常任委員



田原 亮
会派会長
総務常任委員長



故 小池 貴訓
前教育環境
常任委員長



高堀 亮太郎
教育環境
常任副委員長



渡部 竜二
民生常任委員



西 明 (さやか)
民生常任委員



飯倉 一樹
総務常任委員



TAKAKO_FUKUKAWA



RYO_TAHARA_ASAKA



TAKANORI_KOIKE_ASAKA



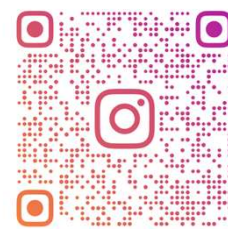
RYOTARO.TAKABORI



RYU2ASAKA



NISHISAYAKA1101



KAZUKI_IIKURA



令和6年度第2回目の会派視察。ワンチームの仲間とともに。

先の市長選で出会った方々や地域課題を踏まえて、大まかに「**農福連携**」というテーマを掲げ、3月3日と4日の2日間5カ所の弾丸視察を実施しました。**ワンチームあさか**の仲間としてともに戦った立憲・歩みの会の御二人もお誘いし、大所帯での視察行程が実現。行き先は栃木県北の那須地域、飯倉一樹議員の栃木県でのキャリアを頼った視察でした。何と当日はまさかの降雪予報…到着したら一面雪景！寒かったけど**HOT**な視察となりました。

那須地域は農畜産業がとても盛んで、観光地としても著名な地域です。初日は**NTTデータだいち**と連携する**森林ノ牧場**、初日2カ所目は農家が集まる道の駅と名高い**明治の森・黒磯**を訪れました。2日目は那須塩原市図書館**みるる**を皮切りに、6次産業型農福連携を実践している株式会社テトテの**和と輪**、最後は6次化しない！と言い切る大田原市**マルホファーム**を伺いました。詳細は視察報告書に譲りますが、6次化は目的ではなく手段であって、地域課題をいかに解決するかが肝要だということが最後のまとめとなりました。今後の市政に活かして参ります👍



新市長と**真摯**に向き合った令和7年度一般会計予算の審議。

20年振りの市長交代という節目の議会、当初は暫定予算か必要最小限の経費を盛り込んだ骨格予算と聞いていましたが、蓋を開けてみれば前年度当初予算を上回る総額513億円超という驚きの一般会計予算。本市の**財政硬直化**がいかに深刻か、お分かりいただけるかと思えます。そして新市長の就任が年度末の3月17日、議会招集が24日と、3月末日までに4月以降の予算を決めなければならない中でこのボリュームです。これでは議会が十分かつ慎重な審議を行うことができず、質疑や討論では**議会との誠実な連携**を求める声が目立ちました。

我々が繰り返し訴えているデジタル化推進や中長期財政計画策定は前進がなく、骨格予算という体から修正案の提出も困難だったことから、あさか未来は当初予算に**反対**。我が会派は田原亮議員、高堀亮太郎議員、飯倉一樹議員の3名が討論しました。最初から最後まで動画で是非ご覧ください▶



あさか未来は、議案の論点を洗い出すために**全員が質疑**しました。議会は**議事**機関ですので、質疑を通じてより良い政策に磨くことが議員の**責務**だと考えているからです。新市長と真摯に向き合い、議論を通じてより良い結論を出す**二元代表制の実現**のために、期待を込めて反対しました。正しく受け止めていただけると有難く存じます。

